

ハイサイウミトモ

海のとともたち

写真と文 依田和明



ハシナガウバウオ

細い体をした体長3cmほどのお魚です。彼らが好む環境はウニなどが生息する場所。写真左端の黒い線がウニ針です。普通、無数に突き出たウニ針を嫌うものですが、彼の場合は少し違います。四六時中、ウニの周辺で暮らす彼ら。危険が迫るとスマートな身体をうまく利用してウニ針の隙間に身を隠す。これで、ほとんどの肉食魚たちは手も足も出せずに退散するのです。ウニの鋭い針も、彼らにとっては我が身を守ってくれる要塞みたいなものです。



依田和明（よだかずあき）プロフィール
海洋写真家 1967年横浜市生まれ。10歳の頃に初めてのぞいた海の世界に感動し、その魅力にとりつかれる。自然の中で暮らしたいと石垣島に移住し、ダイビングスタッフとして働く。現在は拠点を横浜へ移し沖縄の海の生物を紹介している。